

2007年2月期(第7期) 決算説明会資料

# 株式会社パイプドビット

2007年4月13日

株式会社 パイプドビット

TEL 03-5771-6931 FAX 03-5771-6930

当社ホームページ <http://www.pi-pe.co.jp/>



IS90515/ISO(JIS Q)27001  
ISO 27001 & JIS Q 27001



FS501308/ISO9001:2000  
ISO 9001



ITMS513019/ISO/IEC20000  
ISO 20000



A820057(03)

ISO/IEC 20000-1:2005(ITMS 51309) 認証の登録範囲は、当社ASP事業における保守、サポート業務です。

## 弊社事業内容

2007年2月期（第7期）決算概要

2008年2月期（第8期）見通し

商 号： 株式会社パイブドビット  
所 在 地： 東京都港区元赤坂一丁目1番7号  
設 立 年 月 日： 2000年4月3日  
資 本 金： 186,791千円（第7期末現在）  
決 算 期： 2月  
従 業 員： 62名（第7期末現在）  
代 表 者： 代表取締役社長 佐谷 宣昭  
発行済株式数： 16,364株（第7期末現在）

経営理念

明日の豊かな  
情報生活に貢献する

事業コンセプト

「データベースの銀行」

# 「データベースの銀行」とは、 当社の事業が目指すべき姿です。

データベースの銀行がクライアントに提供する価値

## 1．情報資産管理プラットフォーム

顧客リスト等の重要な情報資産を安全に管理する  
プラットフォームを提供

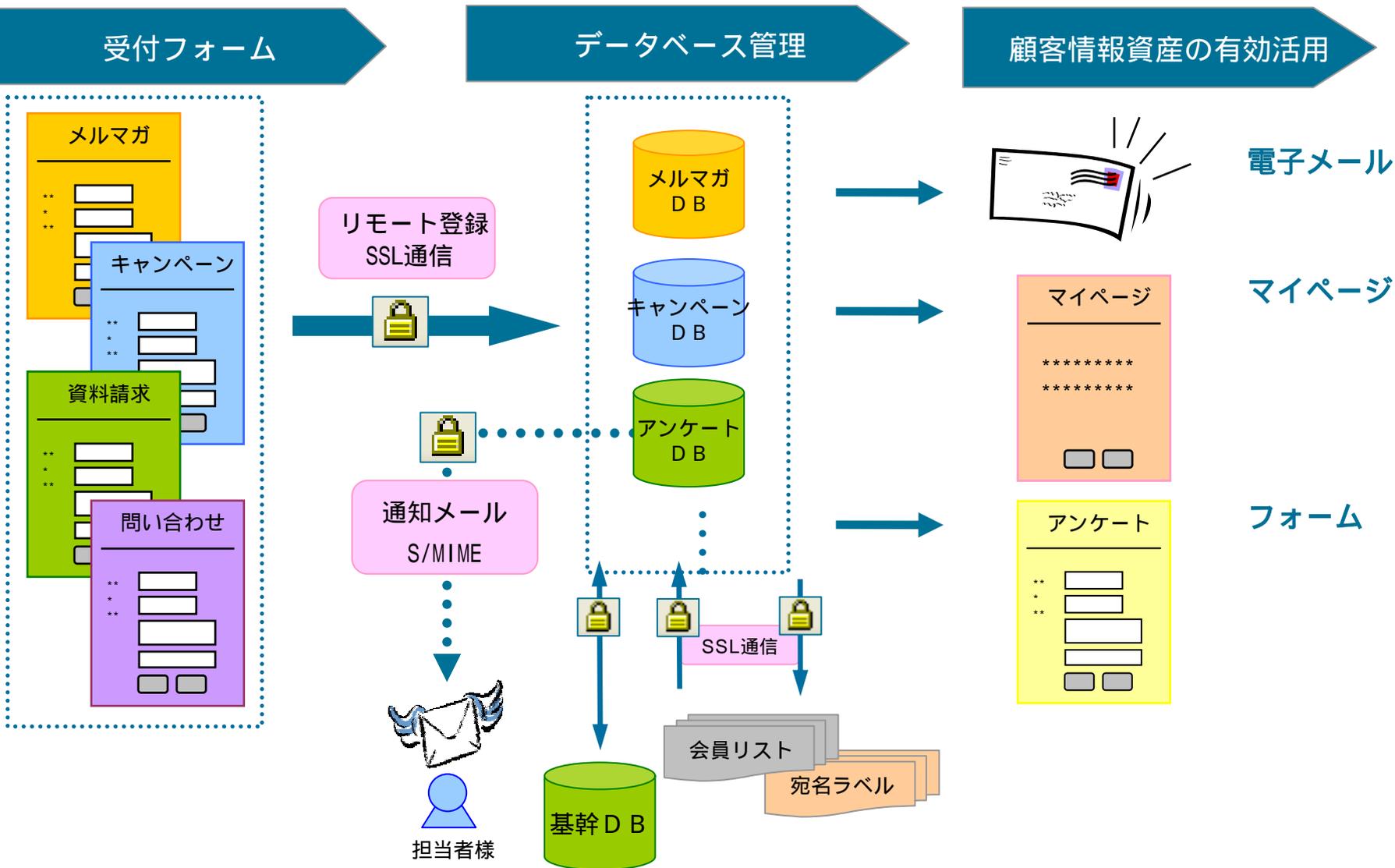
## 2．サービスとしてのソフトウェア

顧客情報資産を活用するソフトウェアをサービスとして提供  
(カスタマイズ可能)

## 3．運用ノウハウ

データベース設計やデータフローのノウハウを伝授、お手伝い

# サービス(スパイラル・メッセージングプレース®)の概要



# 売上

## SPIRALなら

### 多用途で運用

DBは20テーブルまで自由に発行できるため、様々な用途でご利用いただけます。



• • • •

### ASP売上

項目	内容	売上金額(円)
初期売上	アカウント発行	100,000
月次売上	レコード件数 5,000件まで	25,000
月次売上	レコード件数 10,000件まで	50,000
月次売上	レコード件数 15,000件まで	75,000

SPIRALなら  
ムダなく運用!

計: 5,000件



月次売上に関しては、レコード件数が増えるほど、売上も上がります。

上記の売上が主となりますが、他にオプション・カスタマイズ売上などもございます。

# 収益構造

スパイラル・メッセージングプレースの売上は、月次基本利用料等による継続の売上と、初期費用やカスタマイズ費用等の受注に応じた単月の売上( )によって構成されています。

種別	収入	コスト（利益率）
初期	【初期売上】 アカウント開設時に課金	開設・導入に係る労務費（連動）
継続	【月次基本利用料】 レコード件数に応じて課金	システム維持管理費（緩やかな連動） サポートデスク労務費（緩やかな連動） 研究開発費用（ユーザー数と非連動）
	【月次オプション利用料】 オプション機能の利用有無により課金	設置に係る労務費（ユーザー数と非連動） 研究開発費用（ユーザー数と非連動）
スポット	【代行売上】 追加設定や配信代行時に課金	設定・代行業務に係る労務費（連動）
	【カスタマイズ売上】 カスタマイズプログラム提供時に課金	プログラム作成に係る労務費（連動）

単月の売上：初期売上 + スポット売上

2007年2月期（第7期）  
決算概要

# 業績概要

## 計画実績比

(単位：百万円)

決算年月	2007年2月期見通し	2007年2月期実績	達成率
売上高	706	702	99%
経常利益	210	208	99%
利益率	30%	30%	-
当期純利益	122	124	102%
利益率	17%	18%	-

## 前期実績比

(単位：百万円)

決算年月	2006年2月期実績	2007年2月期実績	増減率
売上高	507	702	38%
経常利益	164	208	27%
利益率	32%	30%	-
当期純利益	97	124	28%
利益率	19%	18%	-

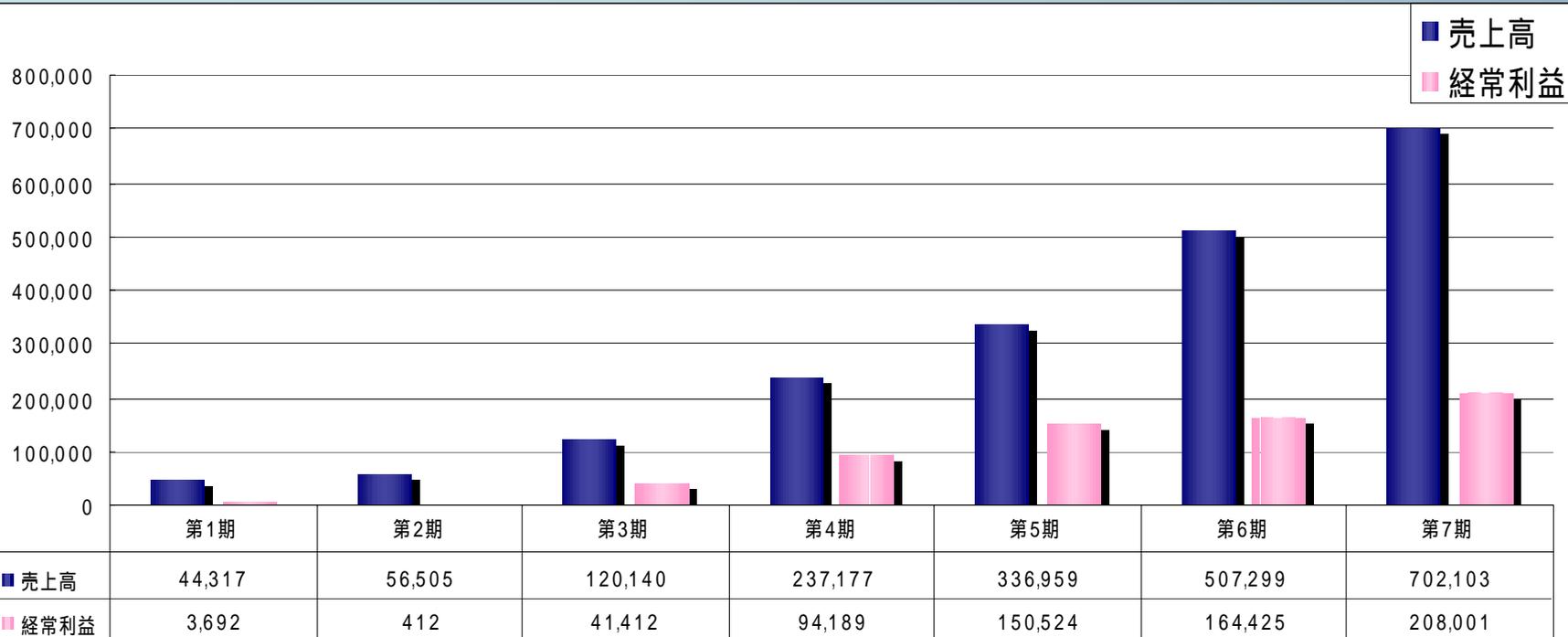
# 業績推移

## 業績推移

(単位：千円)

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
売上高	44,317	56,505	120,140	237,177	336,959	507,299	702,103
経常利益	3,692	412	41,412	94,189	150,524	164,425	208,001
当期純利益	2,561	193	25,128	55,429	87,957	97,243	124,771

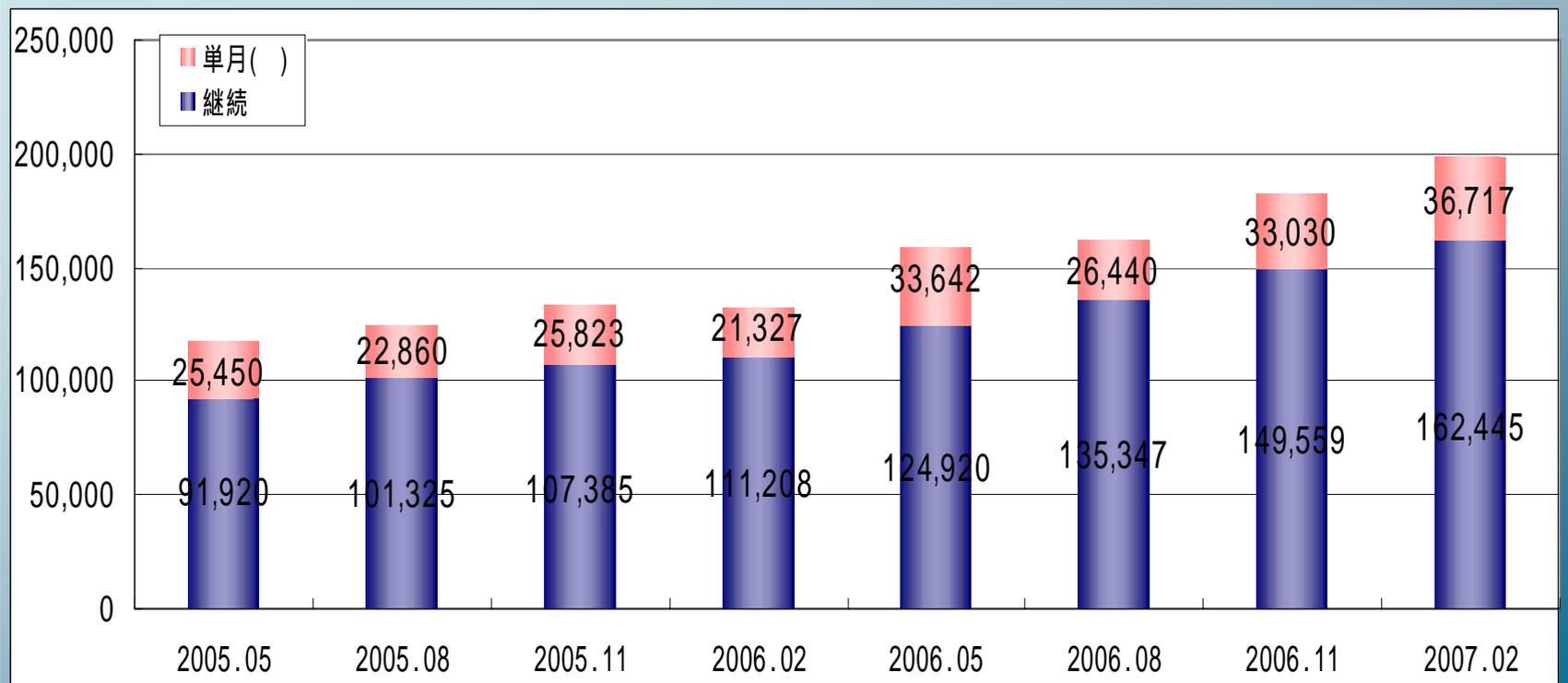
## 売上高・経常利益の推移



# 売上種別推移

## 売上種別実績推移（四半期ベース）

（単位：千円）



## 継続売上の対前四半期増減（単位：千円）

単月の売上：初期売上＋スポット売上

2005.05	2005.08	2005.11	2006.02	2006.05	2006.08	2006.11	2007.02
	9,405	6,060	3,823	13,712	10,427	14,212	12,886

上記記載数値については監査法人の監査を受けておりません。

# 貸借対照表概要

(単位:千円)

決算期		2006年2月期 (第6期)	2007年2月期 (第7期)	増減	
資産の部	流動資産	現金・預金	249,104	548,889	299,785
		売掛金	78,452	113,466	35,014
		その他	11,617	13,042	1,424
		合計	339,174	675,398	336,224
	固定資産	有形固定資産	17,663	20,526	2,862
		無形固定資産	4,419	4,248	171
		投資その他資産	14,005	31,859	17,853
		合計	36,088	56,633	20,544
資産合計		375,263	732,032	356,769	
負債の部	流動負債	81,207	123,488	42,281	
	固定負債	17,860	14,377	3,483	
	負債合計	99,068	137,866	38,797	
純資産の部	資本金	90,191	186,791	96,600	
	資本剰余金	191	96,791	96,600	
	利益剰余金	185,812	310,584	124,771	
	純資産合計	276,194	594,166	317,971	
負債・純資産の合計		375,263	732,032	356,769	

## Point1: 流動資産

上場時の新株発行による「現金・預金」の増加及び売上高の増加による「売掛金」の増加。

## Point2: 固定資産

オフィスの借り増しに伴う差入保証金の発生による「投資その他の資産」の増加。

## Point3: 流動負債

税引前当期純利益の増加による未払法人税の増加。

## Point4: 資本

上場時の新株発行による「資本金」の増加及び売上の増加による当期純利益の増加。

# キャッシュ・フロー概要

(単位:千円)

	2006年 2月期	2007年 2月期	増減
営業活動による キャッシュフロー	68,615	141,906	73,291
投資活動による キャッシュ・フロー	48,662	61,642	110,305
財務活動による キャッシュ・フロー	382	186,236	185,854
現金及び現金 同等物の増加額	20,334	389,785	369,451
現金及び現金 同等物の期首残高	138,769	159,104	20,334
現金及び現金 同等物の期末残高	159,104	548,889	389,785

Point 1:

営業活動によるキャッシュ・フロー

増加要因: 税引前当期純利益

減少要因: 売上債権増加

Point 2:

投資活動によるキャッシュ・フロー

増加要因: 定期預金払戻

減少要因: 敷金保証金の差入

Point 3:

財務活動によるキャッシュ・フロー

増加要因: 新株の発行

# 損益計算書概要

(単位:千円)

	2006年2月 (第6期)	2007年2月 (第7期)	増減率
売上高	507,299	702,103	38.4%
製品製造原価	90,029	127,467	41.6%
うち、労務費	(83,783)	(107,407)	28.2%
売上総利益	417,269	574,635	37.7%
販売費・一般管理費	253,128	349,496	38.1%
うち、人件費	(121,883)	(214,554)	76.0%
営業利益	164,141	225,138	37.2%
営業外収益	284	873	207.4%
営業外費用			
上場関連費	-	11,046	-
株式交付費	-	6,963	-
経常利益	164,425	208,001	26.5%
特別利益	-	3,000	-
税引前当期純利益	164,425	211,001	28.3%
法人税等	67,182	86,230	28.4%
当期純利益	97,243	124,771	28.3%

1株当たり当期純利益

8,019円50銭(第7期)

6,463円07銭(第6期)

第6期については分割を考慮して算出しております。

自己資本当期純利益率

28.7%(第7期)

42.8%(第6期)

総資産経常利益率

37.6%(第7期)

50.4%(第6期)

# 主要経費実績

(単位:千円)

	2006年2月期 (第6期)	2007年2月期 (第7期)	増減
人件費	205,667	321,962	116,294
維持管理費	8,500	11,500	3,000
採用費	26,891	28,970	2,079
研究開発費	27,573	20,510	7,063

平均従業員数	38.4名	62.5名	24.1名増
--------	-------	-------	--------

## Point1:人件費

事業拡大に伴い従業員の増員に伴い増加。

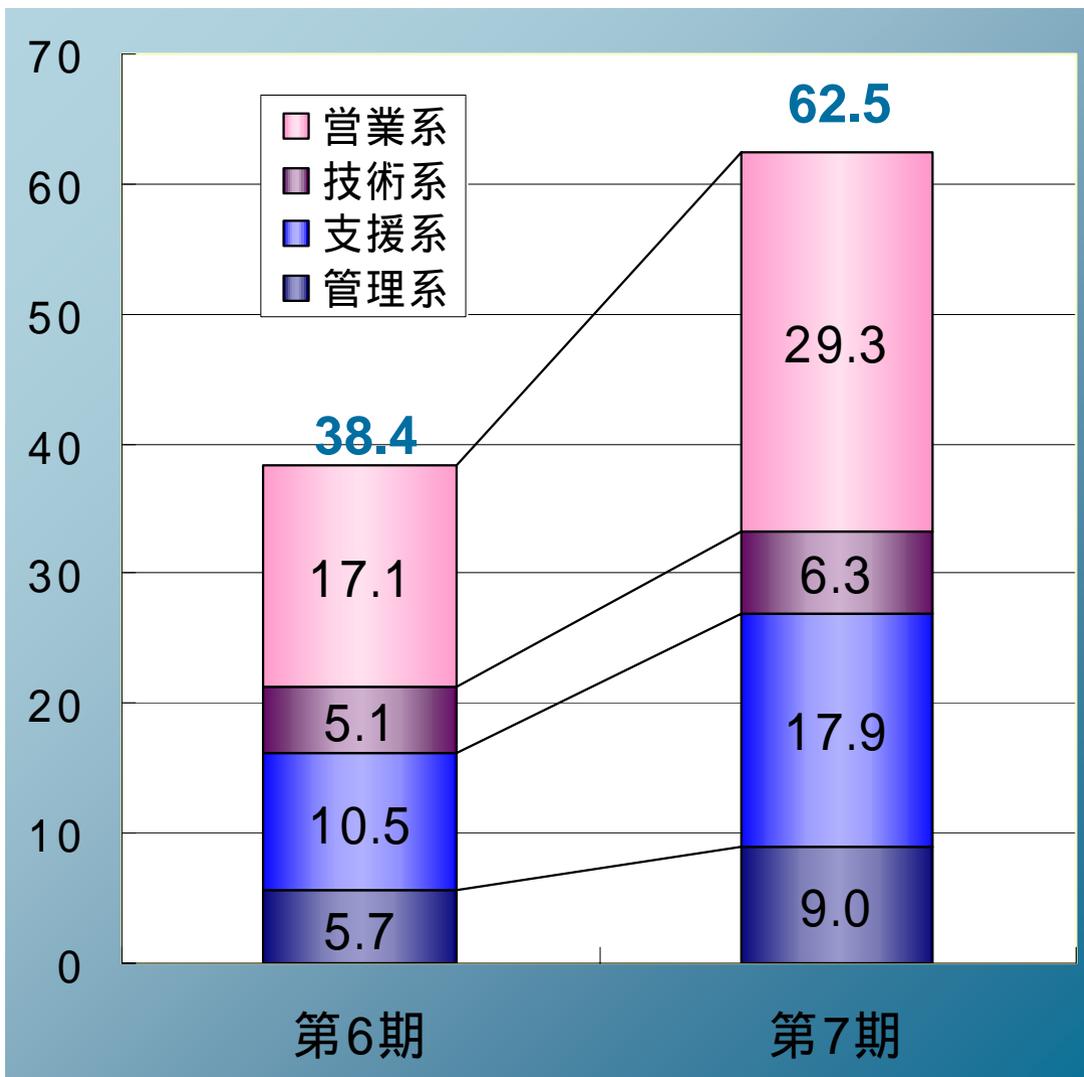
## Point2:維持管理費

ユーザー数の増加に伴うシステム維持管理費の増加。

## Point3:研究開発費

研究開発部門から原価部門への若干名の異動による減少。

# 平均人員配置概要



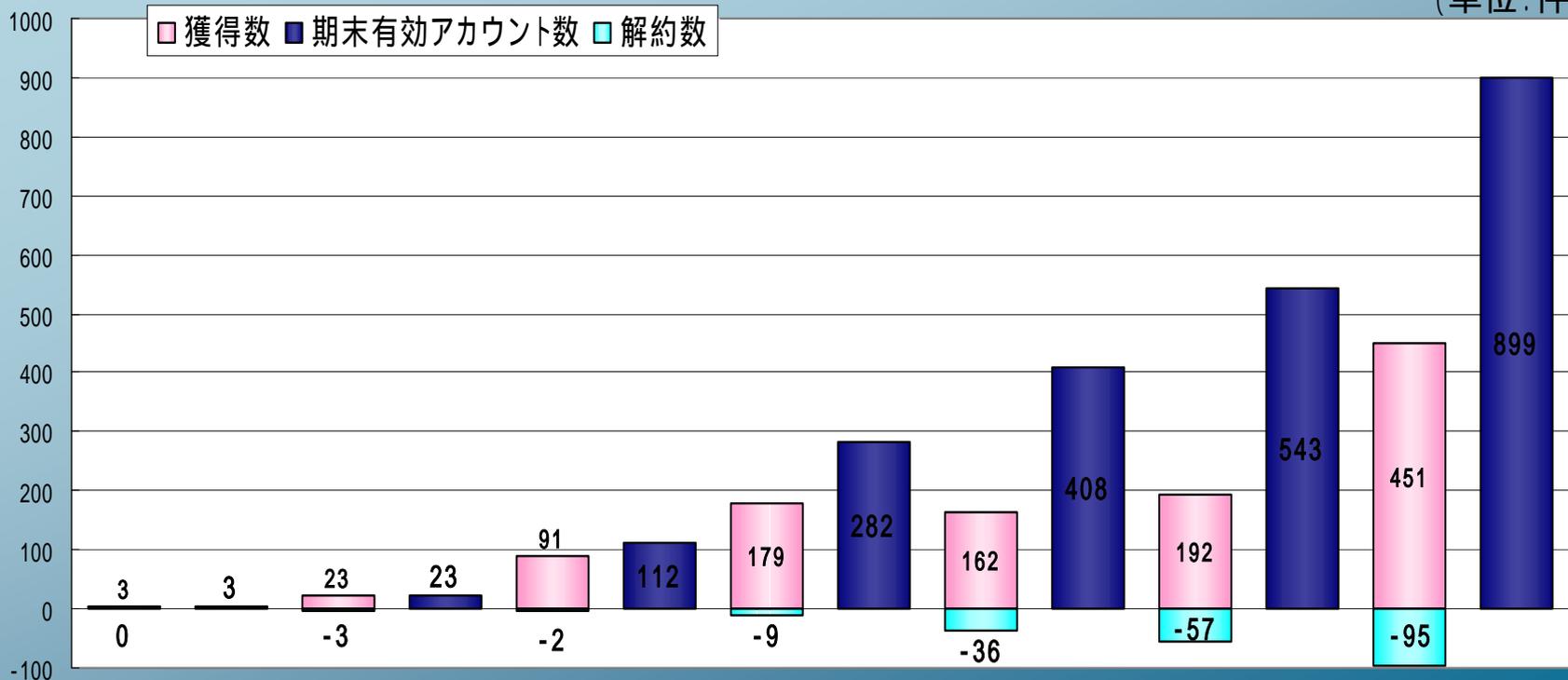
(単位:人)

	第6期	第7期	増減
営業系	17.1	29.3	12.2
技術系	5.1	6.3	1.2
支援系	10.5	17.9	7.4
管理系	5.7	9.0	3.3
合計	38.4	62.5	24.1

平均人員 = 12ヶ月の各部従業員総数 ÷ 12

# 有効アカウント数と解約数の推移（第1期～第7期）

(単位:件)



	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
期末有効アカウント数	3	23	112	282	408	543	899
解約数	0	3	2	9	36	57	95
獲得数	3	23	91	179	162	192	451
解約率	0.0%	11.5%	1.8%	3.1%	8.1%	9.5%	9.6%

解約率 = 解約数 ÷ (期末有効アカウント数 + 獲得数)

2008年2月期（第8期）  
見通し

## 今期の見通し

(単位：百万円)

	2007年2月期実績	2008年2月期見通し	増加率
売上高	702	900	28.2%
経常利益	208	250	20.2%
当期純利益	124	148	19.3%

**データベースの銀行**の中期的成長に向けて、  
以下の3つの軸に注力して参ります。

営業力の強化に伴う有効アカウント数の増加  
既存サービスの拡充に伴うレコード件数の増加や  
利用シーン拡大など既存顧客への付加価値の増加  
新サービスの開発に伴う対象情報資産の  
種類の増加(顧客リスト以外に拡充)

## 免責事項

- 本資料は、株式会社パイプドビッツ（以下、弊社。）の現状を理解していただく為に作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、本資料の発表時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されております。本資料の内容は、今後の経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。